

2019年
第1回 5月9日(木)
伝統音楽を守る
邦楽器の糸製作

講師：矢田直樹 (県教育委員会文化財保護課
滋賀県立琵琶湖文化館)



2019年
第2回 6月27日(木)
文化財を守れ

講師：古川史隆 (県教育委員会文化財保護課
滋賀県立琵琶湖文化館)

2019年
第3回 7月11日(木)
世界遺産をめざす彦根城

講師：小林 隆 (彦根市市長直轄組織文化財課
彦根城世界遺産登録推進室)



2019年
第4回 8月1日(木)
明智光秀近江出身伝説を追う
琵琶湖文化館蔵『淡海温故録』から広がる世界

講師：井上 優 (県教育委員会文化財保護課
滋賀県立琵琶湖文化館)

2019年
第5回 9月19日(木)
明智光秀の幻の名城坂本城

講師：松下 浩 (県教育委員会文化財保護課)



会場 第1回～第5回
コラボしが21 3階 大会議室

滋賀県大津市打出浜2-1

JR琵琶湖線膳所駅より徒歩 20分
京阪石坂線石場駅より徒歩 10分

※会場には駐車場がございません。近隣の駐車場(有料)をご利用になるか、公共交通機関でお越しください。



滋賀の文化財講座

花湖さんは、滋賀の文化財講座のネーミングアドバイザーです。
びわこ湖花街のイメージキャラクターです。

主催/滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
滋賀県立琵琶湖文化館

後援/滋賀県文化財保護連盟
(公社)びわこビジネスビューロー
(公財)滋賀県文化財保護協会

時間 13:30～15:00
第1回～第5回 (受付開始 13:15)

募集人数 各200名
第1回～第5回 ※事前の申込みが必要です。

参加費 無料



参加のお申込み・お問い合わせ

滋賀県立琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634
E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp
ホームページ / http://www.biwakobunkakan.jp

2019年
第6回 10月17日(木)
現地探訪 幻の坂本城を探る

講師：松下 浩 (県教育委員会文化財保護課)

募集人数 60名 詳細は後日公開

※開催約1ヶ月前より別途募集

近江には、国宝や重要文化財を含む多種多様な文化財が伝わっています。滋賀県教育委員会や琵琶湖文化館では、これらの文化財を保護・活用するため、調査や保存修理・展示公開などさまざまな取組をしております。そのような取組をとって、文化財は広く県民に関心を集め観光資源としての期待感も、いっそう高まっているところです。

本講座はそうした県民の関心に対し県と琵琶湖文化館が協働して、文化財所有者や観光関係機関の協力を得ながら、最新情報をみなさまに向けて積極的に発信していこうとする試みです。

大津市打出浜のコラボしが21を会場に繰り出す『打出のこづち』の一振りが、無尽蔵と言うべき滋賀の宝を魅力的に紹介していきます。

第1回 伝統音楽を守る —邦楽器の糸製作—

日本の伝統な楽器である三味線・琴・琵琶などの弦には絹糸が使用されてきました。弦用の糸は、一般の織物用の生糸と違い、より強い強度が必要であるとされます。かつて長浜市木之本町周辺の湖北地域では養蚕業や製糸業が盛んで、現在でも邦楽器糸の生産が続けられています。講座では、人形浄瑠璃文楽や歌舞伎など日本の伝統芸能に欠かすことのできない邦楽器の糸を作る伝統の手わざについてご紹介いたします。

第2回 文化財を守れ

滋賀県内には、彫刻や絵画・古文書など、全国でも有数の規模を誇る美術工芸品が伝えられています。これらの多くは、県内各地の寺院や神社における信仰の拠り所として、地域の人々によって守り伝えられてきました。しかしながら、その伝来の過程において、盗難や災害など、幾多の困難に見舞われてきました。本講座では、これまでに滋賀県が取り組んできた美術工芸品の防犯・防災対策について紹介するとともに、身の回りにある文化財の保護の重要性について再認識していただきたいと思います。

第3回 世界遺産をめざす彦根城

滋賀県と彦根市では、2024年までの彦根城の世界遺産登録を目標に、ユネスコに提出する推薦書の作成を進めています。登録実現のためには、世界遺産として彦根城にどのような価値があるのかを証明する必要があります。本講座では、世界遺産の基礎知識とともに、推薦書作成を通して見えてきた、「江戸時代の統治」をあらわす彦根城の価値を解説します。また、滋賀県の中での「世界遺産」彦根城の位置づけについても考えます。

第4回 明智光秀近江出身伝説を追う —琵琶湖文化館蔵『淡海温故録』から広がる世界—

琵琶湖文化館が所蔵する近世地誌「淡海温故録」の中に、明智光秀が現在の滋賀県多賀町佐目で生まれたとする記述があります。通説では美濃国(岐阜県)出身とされる2020年NHK大河ドラマの主人公・光秀。近江国で生まれたとする説をめぐって、「淡海温故録」の記述内容を説明するとともに、多賀町佐目に伝わる現地伝承などについても紹介しながら、知られざる異伝について考察していきます。

第5回 明智光秀の幻の名城 坂本城

坂本城は、元龜2年(1571)の比叡山焼き討ちの後、志賀郡を与えられた明智光秀により築られました。当時来日していた宣教師は坂本城について、豪壮華麗な城で、安土城に次いで有名なものだとして記しており、残された史料からは大小の天守を持つ立派な城であったことがうかがえます。その後、本能寺の変を経て一度焼失し、再建されますが、天正14年(1586)、大津築城に伴い、廃城となります。現在は、湖中に石垣の痕跡が残るほか、城の遺構はほとんど残っておらず、正確な位置すらわかりません。この講座では、発掘調査成果や古絵図・古文書・古記録など様々な資料を用いて、坂本城の復元を試みます。

予告 第6回 現地探訪 幻の坂本城を探る

※開催約1ヶ月前より別途募集

第5回で学ぶ坂本城に関連して、城があったとされる大津市下阪本とその周辺をめぐります。湖中の石垣以外に遺構がほとんど残っていない坂本城ですが、今回は、様々な資料をもとに復元される城と城下町について、その痕跡を求めて現地を歩きます。

※日時・タイトル・講師および内容の一部について、都合により変更となる場合がございます。

最新の情報につきましては琵琶湖文化館ホームページ (<http://www.biwakobunkakan.jp>) をご確認ください、電話(077-522-8179)にて、お問合せください。

